

1時間あたり数千万回のページビューをシミュレートするWebサイト負荷テストにクラウドを活用



Compuware

ITが問題なく稼働し、ビジネスに貢献するためのソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供する。Compuwareのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーがITを最大限活用できるように支援している。

URL
http://www.compuware.com/en_us.html

アプリケーションパフォーマンス管理(APM)ソリューションを提供するCompuware社では、Webサイトの負荷テストを実施するためのクラウドプロバイダのデータセンターとして、ディメンションデータを採用。ディメンションデータの豊富な経験によるサポートにより、柔軟性を持ったインフラを構築し、ユーザのデータセンターの選択肢を増やすことができた。

課題

- ・ 負荷テストの実施に十分なボリュームと多様性を備えたクラウドベンダーが必要
- ・ 十分な機能性と拡張性を備えたクラウドプラットフォームが必要
- ・ 負荷テストを実施するためにAPIのサポートが必要

解決

- ・ 時間単位の課金形態、APIを使った制御に対応したディメンションデータのクラウドソリューション
- ・ 200の仮想サーバ、800CPU、800GB RAMのテストが可能に
- ・ APIを介してサービスの停止や起動といった制御が可能

オンデマンドによるWebサイト負荷とパフォーマンステストを展開

Compuware社はアプリケーションパフォーマンス管理(APM)ソリューションを提供している。同社の提供するAPMソリューションは、フォーチュン500上位50社のうち46社、そして米国のWebサイト企業上位20社のうち12社に導入されている実績を持つ。

Compuware社のAPMソリューションの中に含まれるWebサイトの負荷テストサービスは、重要なWebおよびモバイルビジネスプログラムの効果を確実なものとするために構築された、使いやすいオンデマンドのパフォーマンステストソリューションだ。負荷のもとでのレスポンスタイムとエンドユーザエクスペリエンスを正確に測定することができる。これにより、企業は新たなWebおよびモバイルサービスを展開する際に、エンドユーザが経験する前に問題点を特定して解決することが可能となる。

増大するクライアントニーズへの対応

負荷テストを実施する際には、仮想ユーザ数、時間単位によるテストの継続期間、テストを実行するクラウドプロバイダのデータセンターを選択する。1回の負荷テストで、数十万人のユーザと、1時間あたり最大で数

千万回のページビューをシミュレートすることが可能だ。クライアントには、合計の仮想ユーザ時間数に基づいて料金がかかる仕組みだ。スケジュールを決めると、アプリケーションプログラミングインターフェース(API)によって、適切な数のエージェントがクラウドプロバイダのサーバ上に自動的に取り込まれる。

ここでポイントとなるのが、テストを実行するためにクラウドプロバイダのデータセンターを利用することだ。これにより、Compuware社は、負荷テスト中に起動されたサーバに対してのみコストを支払うだけですむということになる。

Compuware社APM事業部 Webサイト負荷テスト製品マネージャーのコリン・メイソン氏は、「オンデマンドのインフラは、自社のインフラを構築して管理するよりもはるかに経済的です」と語る。

当初は他のクラウドインフラを利用し、負荷テストサービスを展開。業績の向上に伴い、負荷ボリュームに対する需要も増大したという。

メイソン氏は、「当社は大規模なWebアプリケーションをいくつかテストしました。大きな負荷テストを実施するのに十分なボリュームと多様性を備えたクラウドベンダーは1社もありませんでした」と語る。同時に、地域の違いを反映するために、テストを開始するデータセンターの選択肢を拡大してほしいというCompuware社のクライアントの要望も増え始めていた。

“ディメンションデータは、クラウド導入を非常に手際よく支援してくれました。豊富な経験によるサポートと有益な資料を提供し、困難が生じた場合は常に全力を尽くして当社を最後まで支援してくれました”

Compuware社 APM事業部

Webサイト負荷テスト製品マネージャー コリン・メイソン氏

ディメンションデータのクラウドソリューションを採用

2008年、Compuware社はクライアントの要望をカバーするために必要な追加ボリュームと多様性を提供できる、クラウドプロバイダーを探し始めた。容量の柔軟性とともに、価格設定の柔軟性も重要な要件となった。

メイソン氏は、「一部のクラウドベンダーの請求は月単位でした。ひとたびクラウドを使用すると、たとえ1時間しか必要としなかったとしても1カ月分を支払うことになります。ディメンションデータのクラウドソリューションは、優位性のある時間単位の請求のニーズに対応していました」と当時を振り返る。

また、APIを介してサービスの停止や起動といった制御ができることも重要だった。「APIは当社にとって非常に重要です。APIがなければ、負荷テストを予約するクライアントを待つために人員を待機させる必要があります」とメイソン氏。

10社以上のクラウドプロバイダーを調査した後、Compuware社はディメンションデータのホスティングプラットフォームを選択した。導入段階におけるディメンションデータのサポートもメイソン氏の期待を上回るものだった。

「ディメンションデータは、導入を非常に手際よく支援してくれました。豊富な経験によるサポートと有益な資料を提供し、困難が生じた場合は常に、全力を尽くして当社を最後まで支援してくれました。つまり、ディメンションデータはできると言ったことを実行し

たのです」(メイソン氏)

スケーラビリティと柔軟性を実現

ディメンションデータを利用した負荷テストの評判の高さも手伝って、Compuware社の業績は過去2年間で大幅に向上した。現在では、毎日10件以上のテストが予約されている。「クラウドプロバイダーにディメンションデータを導入してから1カ月以内に、当社のネットワーク全体で実行されたテストのほぼ半分でクラウドが使用されました」と、メイソン氏は語る。

ディメンションデータの採用によって、Compuware社のAPMソリューションは大きなキャパシティを得ることができたという。メイソン氏は、「ディメンションデータによって、当社はかなりの容量を得ました。具体的には、800個のCPUと800ギガバイトのRAMを備えた、1カ所のデータセンターにおける200台もの仮想マシンです。ディメンションデータは、より大きなデータセンターから大規模な負荷テストを実行する環境を提供してくれました。これは当社の純利益に直接影響するものです」と言う。

また、ディメンションデータのインフラのスケーラビリティは、Compuware社の新規クライアントの獲得にも貢献している。「ディメンションデータは、当社が複数の大口契約を結ぶのにも直接的な影響を及ぼしました」とメイソン氏は評価する。

導入のポイント



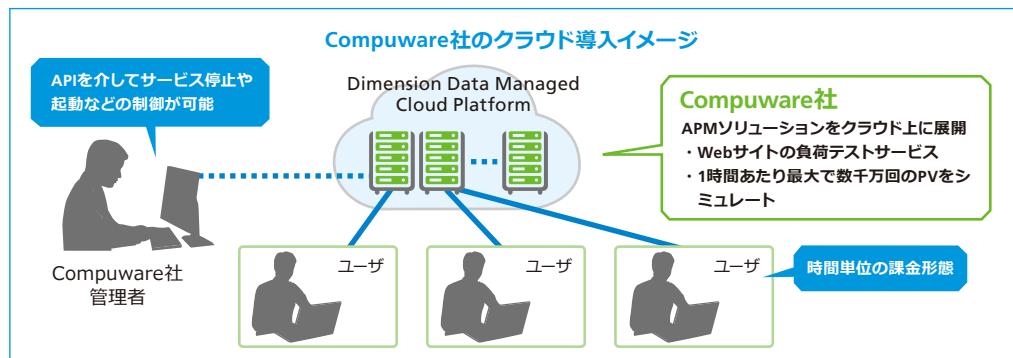
大規模な負荷テストを実行する能力と拡張性



時間単位の課金形態



APIを利用したインフラの制御



お問い合わせ



株式会社ディメンションデータジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル6階
www.dimensiondata.com/jp
email: info.jp@dimensiondata.com

ディメンションデータのクラウドサービスサイト www.nextcloud.jp

Copyright © 2014 Dimension Data All Rights Reserved.